

(財)日本ユニセフ協会佐賀県支部通信 第5号 2005年6月

事務所：〒840-0054 佐賀市水ヶ江4丁目2-2 TEL/FAX 0952-28-2077

e-mail unicef-saga@ams.odn.ne.jp

URL <http://www2.odn.jp/unicef-saga/>

スーダン・ダルフルール情報

緊張高まるダルフルール難民

(資料提供:日本ユニセフ協会)



©UNICEF

難民がスーダンのダルフルール地域から国境を越えて逃れてきているチャド東部では、緊張が高まっています。チャドでは11ヶ所の難民キャンプに20万3,000人が避難しており、ダルフルールでの危機的な状況が続けばさらに多くの難民が流入する可能性があります。

難民の流入はチャドの限られた資源への重圧になっており、難民キャンプの周辺に暮らす村人は、彼ら自身も水や食糧の不足に苦しんでいると訴えます。また、民族間の衝突やスーダンの反政府勢力が台頭しているとの情報もあります。

2005年1月9日、20年以上内戦を繰り返してきたスーダン政府と反政府勢力は、その長い戦いに終止符を打つ包括的和平協定に調印しました。この和平協定が、150万人から家を奪ったダルフルール紛争の終結にも道を開いてくれるとの期待がありますが、厳しい状況は依然として続いています。この地域での2年間にわたる紛争の犠牲者は、約7万人と推定されています。

学校を通じた支援

ユニセフは、スーダンやチャドで暴力や搾取の危険にさらされている子どもに対して深く憂慮しています。そして子どもの保護活動や支援、カウンセリングを提供できる人材養成に取り組んでいます。学校や勉強用のテントがチャドの難民キャンプ内部に設置され、学齢期にある4万4000人の子どもたちが通っています。学校は、紛争を逃れてきた子どもたちに日常や正常の感覚を提供するだけでなく物理的な保護環境も提供しています。



難民キャンプの学校に集まった子どもたち
©UNICEF

「約半数の子どもが第1学年に入学しているという事実から、多くの子が難民キャンプで初めて読み書きを学ぶ機会を得たということが分かります」とユニセフの緊急支援プログラムオフィサーは話します。「しかし、教育が必要なのは難民の子どもたちに限ったことではありません。極端に貧しいチャドのこの地域では、地元にある学校の多くが何年もの間閉鎖されています。ユニセフは、難民であろうと地元のコミュニティの子どもたちであろうとすべての子どもたちが学ぶ機会を得ることができるように支援していきたいと考えています」

学校には水道やトイレをつくり、清潔な水や衛生施設も提供していきます。特に、慢性的な水不足に悩むチャド東部では、水や衛生施設の提供は重要課題です。ユニセフでは、公衆衛生の推進と疾病の蔓延を防ぐため、すべての新しい校舎にトイレと手洗所をつけています。キャンプの周辺では汚染された水が原因となって死亡したりE型肝炎の症例が数百件報告されているのです。最近数週間では髄膜炎の症例も確認されました。保健員の研修、ワクチンの貯蔵や輸送に不可欠なコールドチェーンの確保を通じてユニセフはワクチンプログラムも支援しています。1月末には約17万8000投与分のワクチンが到着し、難民キャンプ内の人々へ投与されています。

スマトラ島沖地震・津波緊急募金へのご協力ありがとうございます

(資料提供: 日本ユニセフ協会)

第20報

昨年末、インド洋沿岸を襲い、28万人もの尊い命を奪った大津波。あれから4ヵ月がたとうとしています。

みなさまのご支援によって勇気づけられた大勢の子どもたちが、今立ち直ろうと一生懸命がんばっています。



私たちにも、届いたよ！

スリランカ・ガレ南部の学校にも「スクール・イン・ア・ボックス」が届きました。箱からユニセフのロゴがついた練習帳を取り出してみんなに配りました。スリランカでは24万人の子どもが教材を受け取りました。



地震・津波から90日

被災地の子どもたちにこれだけの支援が届きました。

	インドネシア	スリランカ	インド	ミャンマー
学校セットが届いた被災地の子どもたち	301,950 人	240,000 人	71,444 人	30,000 人
学校に戻った子どもたちの割合	90%	85%	(未集計)	(未集計)
レクリエーションキットが届いた子どもたち	(未集計)	81,000 人	40,760 人	42,400 人
ビタミン A の投与を受けた子どもたち	238,384 人	(未集計)	107,857 人	(未集計)
予防接種を受けた子どもたち	238,384 人	(未集計)	109,179 人	(未集計)
簡易トイレが届いた人々(1 トイレ/20 人使用として)	20 万人	87,160 人	267,000 人	2,050 家族
安全な水が届いた人々(1日1人/15 使用として)	40,000 人	72,500 人	69 万人	15,000 人
保健キットが届いた人々	55,000 人	15 万人	(未集計)	(未集計)

	モルディブ	タイ	ソマリア	マレーシア
学校セットが届いた被災地の子どもたち	16,000 人	141,000 人	589 人	被災地の 12 校が再開
学校に戻った子どもたちの割合	95%	95%	(未集計)	(未集計)
レクリエーションキットが届いた子どもたち	24,000 人	(未集計)	589 人	13 の避難所で 5,200 人分の乳幼児食提供
ビタミン A の投与を受けた子どもたち	35,00 人	(未集計)	1,728 人	(未集計)
予防接種を受けた子どもたち	11,000 人	(未集計)	1,728 人	(未集計)
簡易トイレが届いた人々(1 トイレ/20 人使用として)	(未集計)	2,000 人	(未集計)	13 の避難所で 5,200 人分の衛生キットを配布
安全な水が届いた人々(1日1人/15 使用として)	10 万人	2,000 家族	4,500 人	(未集計)

※ 各国の状況が異なるため、報告内容も各国ごとに異なっています。上記の内容が支援のすべてではありません。

※ 上記は地震・津波被害に対するこの 3 ヶ月間の緊急・復興支援の内容であり、通常実施されている支援活動等は含まれておりません。



スリランカ：一人ひとりに会って、話を聞いて、記録をつくって

「お母さんは津波で海にさらわれました。お父さんは4年前に亡くなりました。これまでも貧しかったし、これからどうしたらいいかわかりません。」耳が不自由なため、手話で話す14歳のスバ。こうした弱い立場におかれた子どもを標的に、やさしい言葉をかけ、たくみに子どもを他国へ連れ出そうとする斡旋業者がいます。スリランカではこの津波で、5000人近い子どもが両親または片方の親を失ってしまいました。

ユニセフは子どもたちを人身売買や性的搾取、暴力などから守るために、パートナーと協力し子どもの保護に取り組んでいます。子ども一人ひとりの記録をつくり、必要な支援を行い、生きる希望と生活力を身につけていけるよう長期的な活動を進めています。

ソマリア：「きれいな水があって本当に助かりました！」



ソマリアのハフン村では津波で井戸に海水や泥が流れ込み、使えなくなってしまいました。ユニセフはただちに、ポンプで井戸から海水や泥をくみ上げる作業をスタート。

井戸が使えるようになるまで数週間にわたり、92km離れた給水所から毎日水を運び続けました。「きれいな水があって、本当に助かりました!」「ユニセフがきれいな水を運んでくれなかったら、この子も下痢になったりコレラにかかっていたかもしれない。浄水剤、石けん、蚊帳なども支給され、予防接種もしてもらったんですよ」と、避難生活を続けている母親は笑顔を見せてくれました。

モルディブ：つらい体験を絵に描くことで、子どもたちの心の傷が少しずつ癒されていきます。



山みたいに大きな波がみるみる押し寄せてきて、住んでいた場所があっという間に海になりました。水に浸かった家や木、今にも倒れそうなヤシの木。人もドアもドラム缶もみんな流されてしまいました。木にかじりついて助かった人もいました。



恐かった津波。
津波にのみこまれた人の表情に恐怖が見えます。
5歳の子が描きました。

かつどうほうこく

- ◎ 4月3日(日) エコマーケットにてスマトラ沖地震・津波緊急支援バザー (佐賀市エコプラザ)
- ◎ 4月24日(日) 第20回平和の祈り「花みずき茶会」にてパネル展「紛争下の子どもの人権」
(佐賀市金立山いこいの広場)
- ◎ 5月3日(火) 有田陶器市会場にてユニセフグッズ頒布
スマトラ島沖地震・津波緊急支援バザー&街頭募金
(有田町今右衛門古陶磁美術館)



佐賀大学の先生、留学生、学生の皆さんも手伝ってくださって、陶器市で賑わう今右衛門古陶磁美術館前で、各地から来られたお客様にバザーや募金などでのご協力を呼びかけました。

- ◎ 5月14日(土) ユニセフチャリティバザー
「スマトラ島沖地震・津波緊急支援～子どもの笑顔が戻るまで～」(佐賀市玉屋デパート)



佐賀県支部の呼びかけや HP をご覧になってのバザー品のご協力。
新聞・ラジオを通じてバザーを知りお買物に来てくださったお客様。
ボランティアとしてお手伝いくださった皆様。たくさんのご支援あ
りがとうございました。おかげ様で **231,160** 円ものご協力をいただ
き、スマトラ島沖地震・津波への募金とすることができました。

- ◎ 5月21日(土) (財)日本ユニセフ協会佐賀県支部役員会【第3回理事会・第2回評議員会】
ネパール視察報告会(運営委員:坂口ますみ) (佐賀市ホテルニューオータニ佐賀)



理事・評議員の皆様、**2004**年度の事業・財務等、また、**2005**年
度の役員・事業計画・予算等について審議承認いただきました。
今年度もユニセフ支援活動の輪が更に広がりますよう、皆様のご協
力をよろしくお願いいたします。

- ◎ 5月22日(日) 第21回鹿島ガタリンピック会場にてユニセフ募金活動・パネル展・ユニセフグッズ頒布
(鹿島市鹿島七浦海浜公園)
- ◎ 5月23日(月)～24日(火) (財)日本ユニセフ協会全国事務局長会議 (東京ユニセフハウス)
- ◎ 5月24日(火) 佐賀銀行文化財団第12回古切手・書き損じ葉書贈呈式 (佐賀市佐賀銀行本店)
- ◎ 5月29日(日) 第36回青年の日チャリティーフェスティバルにてパネル展・ユニセフグッズ頒布
(唐津市松浦河畔公園国際交流広場)

- ◎ 5月31日(火) コープさが「東ティモール指定募金」贈呈式 (佐賀市文化会館)
 コープさが生活協同組合が行っている「ユニセフお年玉募金」と店舗等でご協力いただいた331,817円もの募金を東ティモールの女性向けの識字教室と、識字の重要性や女性の権利についてラジオを通じての啓発活動などのためにと「東ティモール指定募金」として佐賀県支部を通じて託されました。
- ◎ 6月1日(水) みやき町立中原小学校募金贈呈式(みやき町立中原小学校)
- ◎ 6月3日(金) 佐賀大学文化教育学部附属中学校2年生国際理解グループ事務所訪問
 総合的学習の時間ワンダー「手をつなごう!世界の子どもたちと」
- ◎ 6月5日(日) 佐賀市立嘉瀬小学校6年生ユニセフ出前授業
 「自分にできるボランティア ～世界の子どもに目を向けて～」

ユニセフの活動を通して世界の子どもたちの現状の一端を学び、自分にできるボランティアについて考えました。当日は佐賀市内小学校の「フリー参観日」でしたので、子どもたちと一緒に学習に参加された保護者の方もいらっしゃいました。



★ ユニセフ YES-NO クイズは、全問正解にはならなかったけど世界の子どもたちのことがいろいろ分かりました。そんな子どもたちをユニセフが助けていることを知り、ぼくもできるだけユニセフの手伝いをしたいなと思います。

- ★ 私達がふつうにしているトイレや食事などいろんなことをできない私達と同じくらいの子がたくさんいることが分かりました。だから食べ物を残したり物をそまつにしていたことがとてもはずかしくなりました。
- ★ 私たちには飲める水もあるし、トイレもあるし、住む家も学校もあるのに、モンゴルやネパールにはそんなものがない子どもたちがたくさんいることを知って助けたいと思いました。今よりもっと物を大切にしていって、ユニセフに協力するために「書き損じはがきを集めること」を嘉瀬町・昭栄校区・佐賀市へと広めていきたいです。

ご支援ありがとうございました

コープさが生活協同組合様 大川小学校ボランティア委員会様 大野島小学校児童会様 (株)筑紫建設様
 鳥栖中学校生徒会様 古川康佐賀県知事様 いっせい様 第4回西日本ハムフェア実行委員会様
 城南中学校3年5組様 吉原内科様 矢ヶ部小学校様 千代田東部小学校様 (財)佐賀県国際交流協会様
 西川副小学校様 緑が丘小学校様 大和町春日児童センターこどもまつり実行委員会様 西念寺様
 みねまつ歯科様 花みずき茶会様 山小屋ラーメン南佐賀店様 JA 佐賀県女性組織協議会様
 佐賀リハビリテーション病院様 鹿島東部中学校1年生様 カイセイ薬局荒江店様 鹿島ボーイスカウト・カブスカウト様
 理容組合杵島支部様 中原小学校児童会様 沼津茜会様 九電工労組様
 国際ソロプチミスト佐賀西部様 国際ソロプチミスト佐賀有明様 佐賀リコー様 ホンダパーツ西南(株)
 佐賀営業所様 大塚製薬佐賀工場環境・安全課様 (2005年1月1日～6月8日)

※ 企業・団体のみのご紹介とさせていただきます。個人の方々からもたくさんのご協力を頂いていますが、平成17年4月1日からの「個人情報の保護に関する法律」施行に伴い、お名前の掲載は控えさせていただきます。

ユニセフ「スマトラ島沖地震・津波」写真展

～被災地の様子とユニセフの緊急・復興支援活動～



© UNICEF/Martin Dawes



新学期が始まる前日、スリランカ南部の町ガリに届いた
スクール・イン・ア・ボックス。ユニセフはさらに1,000
キットを1月末前までに送り届ける予定。
©UNICEF Sri Lanka/2005

2004年12月26日の朝にインドネシア・スマトラ島沖で発生した大地震とそれによる大津波は、インド洋沿岸一帯で28万人もの命を奪い、被災者500万人という未曾有の被害をもたらしました。住む家も大切な船や職場も破壊されてしまった人々は、避難所から戻った後も長く苦しい生活を強いられています。今、失われた生活基盤を取り戻し、人々が健康に、安心してくらす環境をつくっていくための長期的な復興支援が必要とされています。

ユニセフは、津波を生き延びた子どもたちのために、安定した水の確保、衛生環境の整備、定期的な予防接種、栄養改善などの基本的な社会サービスの復興を支援しています。

またユニセフは、家族とはぐれ身寄りを無くした子どもたちの心のケアや、子どもたちを人身売買の危険から保護する活動を長期的な復興支援課題として取り組んでいます。

つきましては下記の通り『スマトラ島沖地震・津波』写真展～被災地の様子とユニセフの緊急・復興支援活動～を開催します。ご家族の皆様おそろいで佐賀市立図書館へお越しください。

記

1. 日時 7月20日(水) ～ 7月31日(土) (月 休館日)
火～土 10:00～19:00 日 10:00～17:00 最終日は15:00まで。
2. 会場 佐賀市立図書館 2Fロビーギャラリー
3. 事業名 ユニセフ「スマトラ島沖地震・津波」写真展
～被災地の様子とユニセフの緊急・復興支援活動～
4. 入場料 無料
5. 主催 (財)日本ユニセフ協会佐賀県支部 (TEL&FAX0952-28-2077)

多くの皆様のおいでをお待ちしています！！

ボランティア募集中！

ユニセフ「スマトラ島沖地震・津波」写真展開催中の
会場当番ボランティアを募集しています。



©UNICEF

◎ 日 時 7月20日(水) ～ 7月31日(土) (月 休館日)
火～土 10:00～19:00 日 10:00～17:00 最終日は15:00まで。

◎ 場 所 佐賀市立図書館 2Fロビーギャラリー

◎ 仕事の内容

- ① 来場者の受付 ② ユニセフグッズの頒布

★ ご都合のつく日、どの時間帯でも短時間でも結構です。

ご協力いただける方は、お名前・連絡先を事務所までお知らせください。

事務所：〒840-0054 佐賀市水ヶ江4-2-2

TEL&FAX 0952-28-2077 e-mail unicef-saga@ams.odn.ne.jp

ファックスの方は下記申し込み用紙に記入のうえ 0952-28-2077 までファックスしてください。

★ 締め切り：7月11日(月)

ユニセフ「スマトラ島沖地震・津波」写真展会場当番ボランティア申込書

日本ユニセフ協会佐賀県支部 **ファックス 0952-28-2077**

お名前	ご住所	ご希望の連絡方法：連絡先
	〒	
☆ ご協力いただける日時(時間帯)をお書きください。		
ご協力ありがとうございます。		

(申込書に記載されました個人情報については、日本ユニセフ協会が行う活動—世界の子どもたちの権利を守るために日本において行うユニセフの広報活動・募金活動—の目的のみに使用いたします。)

きっと役に立つ

先生のための

unicef 学習会

ユニセフで学ぶ 「総合的な学習の時間」
～「から世界をみよう！」～

☆ 世界の子どもたちのために活動するユニセフを教材化し、「総合的な学習の時間」に取り入れられる学校がふえてきました。子どもたちは、自分と同じ年代の他国の子どもたちの現状を知り、そこから自分なりの様々な課題を見つけ、学び方や考え方を身に付けていっています。

☆ 昨年実施した **unicef** 学習会が好評で、参加された皆様から次回は長期休業中に実施して欲しいとのご要望がありました。そこで、本年度は下記の通り開催します。先生方はもちろんのこと、ユニセフに関心をお持ちの方のたくさんのご参加をお待ちいたしております。お問い合わせのうえ、ぜひお越しください。

記

1. 日 時 8月27日(土) 14:00～16:00
 2. 会 場 アバンセ2F 音楽スタジオ (佐賀市どん3の森)
 3. 対象者 ①小・中・高の先生 ②参加を希望される一般の方
 4. 講 師 JICA九州関係の方 (現在交渉中)
7月下旬までには決定します。お問い合わせは事務所まで。
また、支部のHPでもお知らせします。
 5. 内 容 ① ユニセフについて
② ワークショップ 「〇〇〇から世界をみよう！」(仮題)
〇〇〇の中はどんなもの？
コーヒー？チョコレート？バナナ？それとも…？
私たちの身近なものから世界の人々との繋がりを考えましょう。
 6. 参加費 無料
- * 参加ご希望の方は裏面の申込用紙を郵送またはファックスして下さるか、メールでお知らせください。(先着40名で締め切らせていただきます。)
- * 住所 〒840-0054 佐賀市水ヶ江4-2-2 日本ユニセフ協会佐賀県支部
- * E-mail unicef-saga@ams.odn.ne.jp
- * TEL&FAX 0952-28-2077

「unicef 学習会」参加申し込み用紙

(FAX送信先) 0952-28-2077

(郵送先) 〒840-0054 佐賀市水ヶ江4-2-2 日本ユニセフ協会佐賀県支部



©UNICEF

たくさんの皆さまのご参加をお待ちしています!

お申し込み日 (月 日)

お名前		
教職の方	学校名	
	学校所在地	〒
	TEL	
	FAX	
一般の方	住所	〒
	TEL	
	FAX	
通信欄	<p>* ご質問やご要望など ご自由にお書きください。</p>	

* お申し込みありがとうございます。ご一緒に楽しい学習会にしましょう。
お待ちしております。